

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月31日

令和元年度(3年目)

事業コード	6	事業名	商工会の創業支援力強化事業			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	3	施策名	新たな可能性にチャレンジする創業・新分野進出の推進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景
商工会地域では、少子高齢化や人口減少、マーケットの縮小による事業者の減少に歯止めがかからず、創業支援や新分野進出等の支援による地域経済の維持が求められている。
2. 事業のねらい
創業や新分野進出を一層促進し、地域に新たな活力を創出していくため、有資格者の育成等で商工会の支援力を更に強化する。
3. これまでの評価結果
過年度 H29 - H30 C R1 R2
インキュベーションマネジャーの要請を図り、7名が商工会の現場で支援にあたっているが、予算の制約もあり新たな資格取得者の育成が図られていない。
4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応
新規有資格者の育成に係る予算の確保が難しいため、インキュベーションマネジャーを有効に活用するチーム支援体制の整備を行う。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
14	商工会の支援力強化	インキュベーションマネジャー7名を中心に、専門家も含めたチーム支援体制により創業希望者へのきめ細かな支援を実施している。	a	b	a	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)																	
取組コード						取組コード						取組コード					
指標名						指標名						指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価
【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a
〈評価の理由〉 インキュベーションマネジャーによる経営指導員に対する計画づくりや支援手法の提案等、創業支援全般をサポートする人材の育成は有効であるため、事業の必要性は高い。
【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b
〈事業の目標は達成されているかどうか〉 新たな資格取得者を育成するための予算(補助金)が確保できず、増員を図ることはできていないが、有資格者を中心としたチーム支援体制を整備し、専門家派遣も含めて創業希望者へのきめ細かな支援を実施している。
【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a
〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉 専門家も含めたチーム支援体制を整備し、効率的な支援につなげている。
2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B
予算の確保難により新規有資格者の育成は図られていないが、有資格者を中心にチーム支援体制を整備し、創業希望者へきめ細かな支援を実施している。
3. 課題
チーム支援体制を整備したとはいえ、有資格者の増員は商工会の支援力強化に直結することから、今後も育成は必要である。
4. 今後の対応方針(改善点)
引き続き県への予算要望は実施していくとともに、人材育成課と連携し、創業支援ノウハウの習得強化を進める。